

NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第 21 回全国の集い in 北海道 2015 企画紹介文

企画名	
「みんな違って みんな要る」 終末期ケアにおける多職種協働	
開催日時	2015 年 10 月 12 日 月曜日・祝日 午前 9:00～
対象者（対象とする職種や参加いただきたい方）	
いろいろな人とおしゃべりをしたい人、どなたでもウェルカムです。	
企画概要／	
<p>本来、地域で暮らす個人の抱えるニーズは異なり、また、その範囲は医療や福祉に留まらず多様な世界で絡みあっているものです。その多様なニーズに応えるためには、職域を超えたチームを構築することが必要になりますが、私たち保健・医療・福祉・介護の資格者の視点もまた多様であり、チームビルディングのバリアとなっています。このセッションでは、職種によって違う視点や意見を、あえて際立たせることで、多様性を認め合うことの大切さと、職種間には元来バリアがあることを学ぶことにしています。</p> <p>といっても、そんなに難しいことをするつもりではありません。</p> <p>パネルディスカッションでは、終末期にある事例 1 例を提示したのち、医師、看護師、MSW、介護福祉士、患者家族それぞれの立場から、事例について注目する点、今後考えるべきことを発表してもらいます。議論をまとめるつもりはなく、それぞれの視点の違いを知るのが目的です。</p> <p>その後、会場参加者と一体になってセッションを進めます。ケアに関わる多様な立場の人がフラットに話し合う場であるケア・カフェ®を同じ会場で行います。ケア・カフェ®は、2012 年に北海道旭川で始まった、まったく新しいコンセプトで行われる、ケア提供者の集まりです。ジャズの流れるカフェのような雰囲気の中で、コーヒー片手に会話を楽しみながら、顔の見える関係づくりと日頃の悩みを相談できる場です。現在 33 都道府県、100 か所以上の場所で行われています。今回は全国の集いの会場で、このケア・カフェ®を体験していただきます。</p> <p>テーマ「多職種協働～みんな違って みんな要る～」について、自由におしゃべりをしてください。コーヒーを飲みながら、スナックを食べながらで結構です。席替えや、みなさんの意見をシェアする時間も設けています。</p> <p>様々な職種の違う視点、違う考えを集めてこそ、あるべきチームによるケアです。それは職種間の「育てあい」でもあると思います。このセッションを通じて、皆で考えていければと思います。</p> <p>ケア・カフェ®についての詳細は以下のページをご覧ください。</p> <p>http://www.carecafe-japan.com/</p>	